

★プログラム紹介★



講義「青少年教育における体験活動棟の意義」

北海道の子どもの現状や各種調査研究をもとに、体験活動の意義と必要性について学んだ。



演習「自然体験学習（造形あそび）」

自然体験学習のひとつである「造形あそび」を幼稚園新採用教員と一緒に体験し、必要性と可能性について学んだ。



演習「ハイキング（不動の滝周辺の川を登る）」

自然体験プログラムを体験し、必要なスキルやリスクについて、安全管理の観点から学んだ。



演習「燻製作り」

大雪青少年交流の家が提供しているプログラムの「燻製作り」を体験し、食育の重要性と必要性について学んだ。



演習「ワイルドライフキャンプ2015への参加」

長期キャンプに参加し、参加者との交流を通して、生徒との関わり方について学んだ。

企画・運営のポイント

教員を目指す大学生にとっても、子供との交流の機会を提供することで、体験活動を実践的に学ぶことができただけでなく、教員としてのやりがいを実感できるよう対象を設定した。

事業を終えて（成果と課題）

教員を目指す学生にとって、学校教育現場で活用できる自然体験活動の技術や子供たちへの関わり方を学べるプログラムとなった。

子供たちと直接関わる機会を設定することができたので、教員としての学びにつなげることができた。しかし、関わる時間が短かったとの意見があったので、改善が必要である。

今後の方向性

今後も学校教育現場で活用できる自然体験活動の技術や子供たちへの関わり方を学べるプログラムを実施しつつ、子供たちと関わる時間を設定していく。また、本事業についての広報が不十分なため、広報活動に力を入れる必要がある。